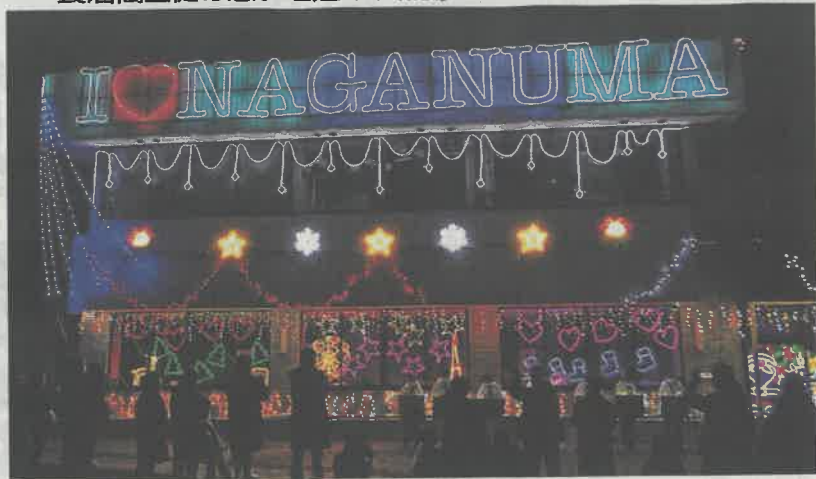


長沼高生徒の思いを込め、点灯されたイルミネーション



長沼商工会館に電飾点灯

地元高全校生で制作

昨年より規模大きく

須賀川市の長沼高の全校生七十五人がイルミネーションを作り、地元の長沼商工会館に取り付けられた。新型コロナウイルス感染拡大の影響で作れなかったねぶたに代え、古里への思いを込めた。六日夕方、点灯式が行われ、夜を彩り始めた。

イルミネーションの担当した。生徒は九月に開催されている長沼まつりで、ねぶたを主催。二〇一七（平成二十九）年に始まり、昨年は長沼高の生徒会や美術部の有志がデザインと制作の一部を

全校生の参加によって電飾の規模は昨年より大きくなった。生徒の気持ちを「I ♥ NAGANUMA（アイ・ラブ・ナガヌマ）」と表し、星やハートなどをちりばめた。

点灯式には夏目利江子校長をはじめ、多くの生徒が参加した。赤羽隆商工会長、柳沼滋地域振興委員長がいさづ。生徒代表の志賀新生（ねお）さん（一年）が「完成が近づく

につれ、達成感を持つことができた」と喜びを語った。

カウントダウンの後、一斉に点灯され、集まった市民や生徒から歓声が沸き起きた。同時に花火も打ち上げられた。

来年二月二十八日まで毎日点灯される。時間は午後四時半から同九時まで。十二月三十一日と一月一日は延長し、翌日午前四時までともされる。問い合わせは長沼商工会 電話0248(67)3121へ。